

# POPOLA ぽぽらだより

TAKE FREE  
ご自由にお取りください

まちのことを、はじめる場所。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行する、まちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター  
(指定管理者：(株)コンベンションリンクエージ)  
年4回発行（3月、6月、9月、12月）

2020.12  
vol. 35



## ぽぽらフェスティバル開幕！ 市民活動を止めない挑戦がスタート！

オンラインと現地開催のハイブリッドフェスタ開催報告



Challenge !

# 01

団体活動の紹介動画が大集合！

## 市民活動のオンライン見本市

2020年12月6日～2021年2月末

ぽぽらフェスティバルに先だって10月に開催された動画制作講座を経て、登録団体の皆さんの活動紹介動画がオンライン上に集結しました！例年通りの開催が難しくなっても、春日部の市民活動を止めないためにできることとして企画されたオンライン見本市。ぽぽら春日部では公式YouTubeチャンネルを開設し、春日部の市民活動を発信していきます。登録団体の皆さんには公開動画のQRコードを貼り付けた名刺サイズの紹介用カードもお配りしています。"オールぽぽら"でコロナ禍の市民活動を盛り上げていきましょう！



動画の視聴はこちらから！



# 『コロナ時代を考える』 市民活動シンポジウム & 交流会

2020年12月6日

Challenge!

02

●オンライン基調講演

## コロナ時代の市民活動・地域活動のヒント

NPO法人CRファクトリー 代表理事 呉 哲煥（ごてつあき）さん



孤立にまつわる社会現象（自殺、うつ、児童虐待、孤独死等）がなくならないのは、つながりの希薄化やコミュニティの弱体化などの社会構造に問題があると（私は）思っています。だからこそ、地域活動や市民活動、NPO活動は、“人のつながりやコミュニティが豊かになる”とても大事な活動だと考えていて、コロナ状況下で、つながりや居場所をつくるような活動がしづらいというところに、私は「痛み」を感じています。

### —With コロナ時代の団体運営

感染拡大により、イベントや場づくり、交流などの市民活動はやりにくくなってしまい、リアルな場に対する（恐れの）認識の差やITリテラシーの差が「関わり」の差になってきてしまっています。孤立しやすいコロナの時代に活動を前に

進めるためには、成果だけではなく、人との関係性をあたためるような懐の深さが団体や地域活動のマネジメントには大事になってくると感じています。

### —これからの活動をどう進めるか

あと1年ぐらひは感染が収まったり、広がったりを繰り返すでしょう。苦手かもしれないけどオンラインに取り組むのもひとつの手です。環境の整備や会合のオンライン開催などに少しずつ取り組むことを考えてもいいのかもしれませんが。全国を見渡してもZOOMやYouTubeなどのオンラインツールを市民活動団体が使いこなす時代にだんだんできてきていると感じます。

リアルな場をつくることに対しては、感染対策を徹底した上で信頼感・安心感をつくるのがポイントだと思います。

感染状況をみながら、要所要所でリアル（対面の場）をつくって、関係性をちゃんとつくるということを意図的にやった方がいいと思います。

With コロナ時代は、普段はリアルでやっていたイベントや会合を、（感染が拡大したときに）できればオンラインに変えてみる。雨に例えるなら、傘をさして「小さくでもいいから活動を続けよう」ということです。（感染が収まってきたら）またリアルの場を積極的に作ってみる。感染状況によって切り替えができることは、団体の進化にもつながりますし、できれば両方を併用できるハイブリッド運営がいいんじゃないかと思えます。

### —さいごに

今は正解なき時代に突入しているなど思っています。不要不急と言われるかもしれないし、経済も雇用も医療もこの時代に本当に大切ですが、私はあえて「つながり」とか、「雑談・会話」、「コミュニケーション」が人間にとって大事だと強く訴えたいですし、その重要性はむしろ社会全体が理解し始めているような気がしています。

今の時代に大切なことは、一人で黙々と悩んだりするのではなくて、できればがんばってオンラインとリアルを併用して、誰かと話し、知恵を持ち寄り、悩みを共有することです。そこは止めないでほしいし、そこに焦点を絞っていくと、活動が続いたり、光が見えてきやすいと思います。話しているうちに心が動いてきて元気になったりするのではないのでしょうか？

12月6日(日)、春日部市市民活動センターで「ぼぼらフェスティバル2020」が開幕。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、分散開催かつ、オンラインと現地開催を組み合わせたぼぼら史上初のハイブリッドフェスタに挑戦しました。オンラインと現地それぞれに20名以上、計50名以上の人が参加した新しいかたちの市民活動シンポジウムの内容をお届けします。ご参加ありがとうございました！

## ●市民活動団体・事例発表「コロナ禍の活動とこれから」



春日部市自治会連合会 事務局  
春日部市市民参加推進課 課長

柴山 伸之さん



春日部こどもライブフェスタ実行委員会  
事務局長

新井 恵美さん



NPO法人かすかべ子ども食堂ひなた  
副代表理事

佐藤 恵さん

自治連では早い段階からコロナに関する情報提供を始め、多くの自治会が書面表決などの柔軟な対応で総会を乗り越えることができ、成長の糧となりました。

また、地域コミュニティを維持するために、マスクや市内のみで使える共通商品券の配布、コロナ対策避難所の設営訓練なども各自治会の事業として工夫して実施されたようです。各自治体には「3密は避けても、人とひとの心のつながりは絶やさない！」をテーマに、コロナ禍であっても「できること」や「すべきこと」を模索しながら地域におけるコミュニティ活動を継続していただきたいです。

「こどもライブフェスタ」はふれあいキューブを会場に2012年から開催してきましたが、密集・密接となる従来の方法では開催できない状況から、方法や内容を変えて子どもたちに届けることになりました。「紙面会場」と名付けたチラシにはQRコードで「あそびのレシピ」と呼んでいる動画が見られたり、オリジナルの迷路や間違い探しを楽しむことができます。動画やSNSを初めて活用したことで多くの人に情報を届けることもできました。リアル開催ができることを願いつつ少しでも子どもたちの遊びが豊かになるお手伝いをしていきたいです。

自分自身の辛い経験から、困っている人を見てみぬふりはしたくないし、まずは自分が行動しようと思い立ち、「地域で子育てをしたい！」という思いで子ども食堂をつくりました。月に4回食堂を開催していましたが、コロナの影響で参加者が半分以下になり食事の提供が難しくなりました。何があっても継続させるという設立時の思いから、市内飲食店や企業の皆様の協力を得て、毎月食料やお菓子、マスク、ランチ券の無料配布会を開催しています。食堂が開催できなくても、必要としている親子に食事を届けていきたいです。協力者も募集しています。

## Challenge!

# 03

リレー展示でつなげていく

## 私のまちの市民活動

2020年12月6日～2021年2月末



展示団体は  
こちらから  
チェック！

ぼぼら春日部内4階の交流・ミーティングスペースにて、登録団体の活動をパネル展示にてご紹介しています。来年2月までの間、密にならないように下記の期間に分けて入れ替わり展示していきます。ご来場の際は、ソーシャルディスタンスを保って、それぞれ趣の異なる展示をお楽しみください！

- 第1期 12月6日(日)～12月20日(日)
- 第2期 12月22日(火)～1月11日(月) ※12/29(火)～1/3(日)は休所
- 第3期 1月13日(水)～1月27日(水)
- 第4期 1月29日(金)～2月12日(金)
- 第5期 2月14日(日)～2月28日(日)





## 地域活動オンライン座談会

交流・協働

ホウコク

春日部市自治会連合会 × ぽぽら春日部

オンライン対応



秋の深まる11/18(水)、春日部市自治会連合会との協働により「自治会」と「市民活動団体」をつなぐ「オンライン座談会(体験会)」をぽぽら春日部で開催しました。

当日は館内に集まった自治会長の皆さんが複数のグループに分かれ、それぞれ「ZOOM」を使ったオンライン上のコミュニケーションを体験しました。コロナ禍での自治会活動の現状を、オンラインで参加した市民活動団体の皆さんと共有し、感染拡大が続くなかでの今後の活動について意見を交わしました。なかにはすでにオンラインで会合をするなどの取り組みを進めている自治会もあり、ぽぽら春日部ではこれからもオンラインを通じた新しい協働のかたちをサポートしていきます。



## オンラインで楽しむモヤモヤカフェ

ボシュウ

毎月1回、春日部に接点のある方(モヤ友)を招いて、ゆるやかな会話と偶然の出会いを楽しむモヤモヤカフェ。空間を共にする機会を大事にしつつも、感染拡大防止の観点からオンラインでの参加を推奨しています。ぽぽら春日部ではZOOMなどのオンライン会議の活用相談も受け付けています。ぜひお問い合わせください!

開催概要やモヤ友はこちらからチェック



## SDGsはじめの一步

セミナー

ホウコク

講師:NPO法人エコ・コミュニケーションセンター  
代表 森良(もりりょう)氏

オンライン対応

先月11/14と11/28の2回にわたって、市民活動講座『SDGsはじめの一步』が開催されました。講師にNPO法人エコ・コミュニケーションセンターの森氏をお招きして、SDGsの基礎を学びました。また、参加者それぞれが「2030年の春日部(の未来)」を思い描き、描いた目標を達成するための計画づくり(ワークショップ)も実施。熱量のある意見交換のなかから生まれた「ローカルティを活かしたコミュニティの創造」「緑豊かなきれいな春日部」「活気あるまちづくり」「行動するアクティブシニア」等の目標が、チームごとに具体的な行動計画にまで落とし込まれていきました。講座の参加者からは「まずは動き出す」「行動の伴う自分になる」などの発言もあり、自分ごととして行動するSDGsの本質に少し触れることができた2日間となりました。

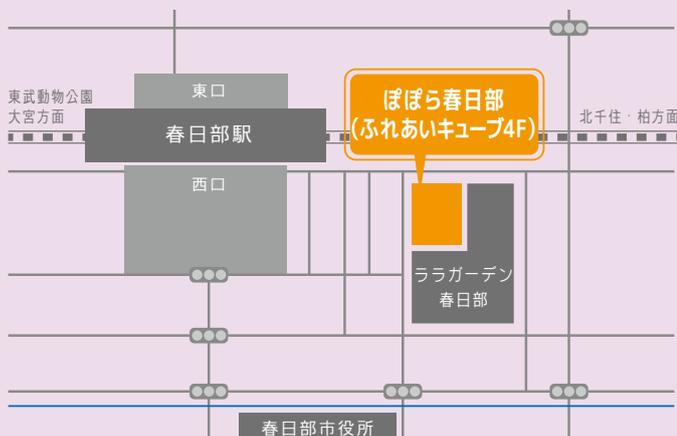


## 新規登録団体情報

オシラセ

前号以降に新規登録された団体さんをご紹介します。センターでは積極的に団体同士の交流やマッチングを行っております。それぞれの団体の活動内容を館内に配架してある団体ファイルなどでチェックし、ご関心のある方はいつでもセンター窓口にお問い合わせください。

- タマムシの会 ●相続対策を考える会 春日部
- スマイルパントリー ●リンパ&アロマサークル FUGA (順不同)



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩5分。  
※駐車場(有料)は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

☎048-731-3550

✉popola@kasukabehall.jp

### 春日部市市民活動センター(ぽぽら春日部)

年中無休(年末年始を除く) 9:00~21:30

TEL 048-731-3550 FAX 048-734-1605

〒344-8578 埼玉県春日部市南1-1-7 ふれあいキューブ4階

<http://kasukabe.genki365.net/>

<https://www.facebook.com/popolakasukabe/>



※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。登録には窓口でのヒアリング及び登録申請書、団体の規約、名簿、活動実績等の資料の提出が必要となります。詳しくは上記窓口にお問合わせください。

※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでもご自由にご利用いただけます。